

## 4 財政状態（貸借対照表）について

### (1) 財政状態の概括

貸借対照表に示される財政状態は、次表のとおりである。前年度と比較すると、資産は、2.3%増加し、これに対し、負債は、1.5%、資本は、2.9%増加している。

(単位:千円・%)

区 分	平成29年度		平成28年度		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
<b>資 産</b>	42,972,489	100	41,988,194	100	984,295	2.3
固定資産	38,146,727	88.8	37,387,487	89.0	759,240	2.0
流動資産	4,825,762	11.2	4,600,707	11.0	225,055	4.9
<b>資産合計(総資産)</b>	<b>42,972,489</b>	<b>100</b>	<b>41,988,194</b>	<b>100</b>	<b>984,295</b>	<b>2.3</b>
<b>負 債</b>	17,306,805	40.3	17,056,008	40.6	250,797	1.5
固定負債	9,312,593	21.7	9,166,163	21.8	146,430	1.6
流動負債	1,407,714	3.3	1,388,532	3.3	19,182	1.4
繰延収益	6,586,498	15.3	6,501,313	15.5	85,185	1.3
<b>資 本</b>	25,665,684	59.7	24,932,186	59.4	733,498	2.9
資本金	21,192,153	49.3	20,613,918	49.1	578,235	2.8
剰余金	4,473,531	10.4	4,318,268	10.3	155,263	3.6
<b>負債資本合計</b>	<b>42,972,489</b>	<b>100</b>	<b>41,988,194</b>	<b>100</b>	<b>984,295</b>	<b>2.3</b>

### (2) 資 産

#### ア 固定資産

固定資産は、下水道事業会計への長期貸付金の皆増などにより、前年度と比べ、2.0%増加している。無形固定資産については、本年度は、増減していない。

#### イ 流動資産

流動資産は、前年度と比べ、4.9%増加している。これは、主に、現金及び預金が大きく増加したことによる。

### (3) 負 債

#### ア 固定負債

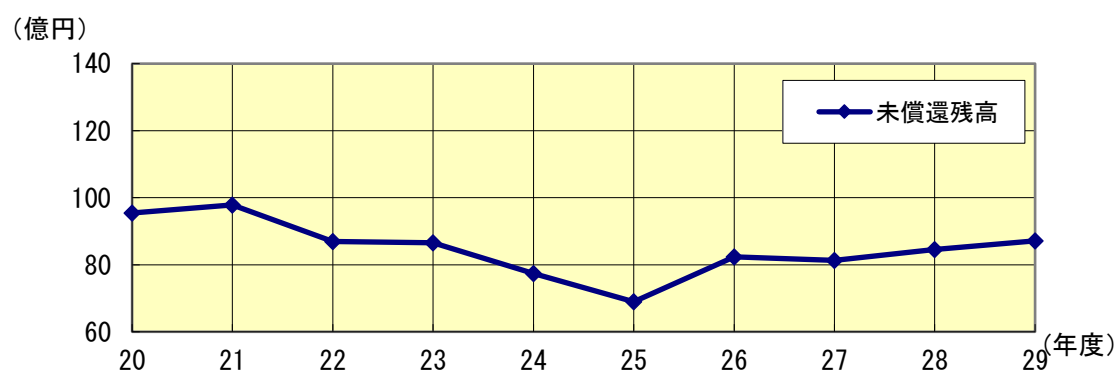
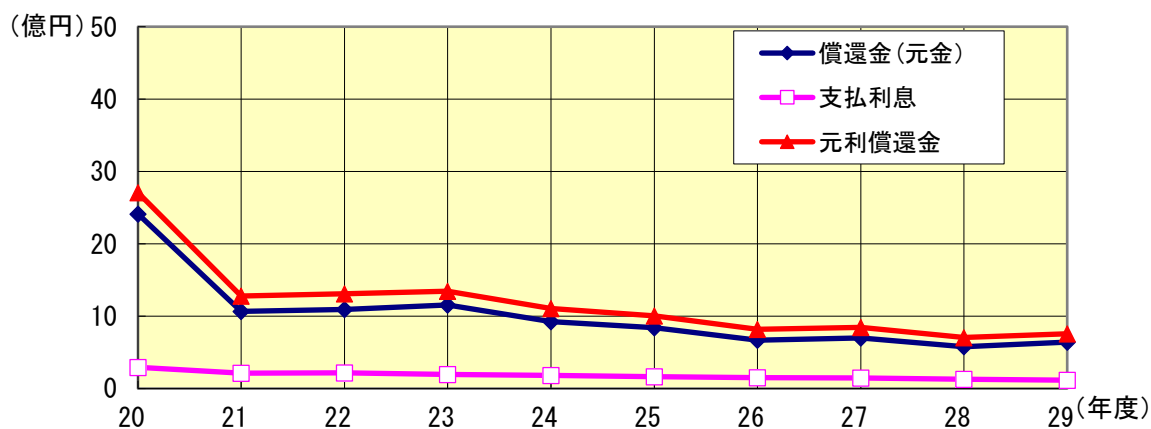
固定負債は、前年度と比べ、1.6%増加している。これは、主に、企業債が増加したことによる。

#### イ 流動負債

流動負債は、前年度と比べ、1.4%増加している。これは、主に、企業債が増加したことによる。

なお、企業債の本年度末未償還残高は、合計で87億1,255万1千円となり、前年度と比べ、3.1%増加している。過去10年間の推移は、次表のとおりである。

企業債元利償還額及び未償還残高の推移



(単位:千円)

区分	償還金(元金)	支払利息	元利償還金	借入額	未償還残高
平成20年度	2,413,368	293,794	2,707,162	1,598,300	9,548,329
平成21年度	1,067,703	213,224	1,280,927	1,304,800	9,785,426
平成22年度	1,091,317	216,810	1,308,127	0	8,694,109
平成23年度	1,154,053	193,309	1,347,362	1,120,000	8,660,056
平成24年度	923,401	181,622	1,105,023	0	7,736,655
平成25年度	841,949	163,708	1,005,657	0	6,894,706
平成26年度	668,942	152,483	821,425	2,007,700	8,233,464
平成27年度	700,883	145,663	846,546	600,000	8,132,581
平成28年度	578,235	127,344	705,579	900,000	8,454,346
平成29年度	641,795	116,352	758,147	900,000	8,712,551

(備考) 各数値については千円単位で表示しており、表中で未償還残高を算出した場合と異なるものがある。

#### (4) 繰延収益

償却資産の取得又は改良に伴い交付される補助金等については、長期前受金として繰延収益に計上した上で、減価償却見合い分を順次収益化することとなっている。

本年度末の繰延収益として 65 億 8,649 万 8 千円が計上されている。

#### (5) 資 本

##### ア 資本金

平成 28 年度の未処分利益剰余金の一部を資本金へ組み入れたことにより、本年度は、2.8%増加している。

##### イ 剰余金

###### ① 資本剰余金

減価償却が必要な資産の取得に充てられた補助金等に相当する額は繰延収益へ計上されることとなり、このうち減価償却見合い分は利益剰余金に振り替えられている。

非償却資産の取得や除却済資産に充てられた補助金等の額に相当する資本剰余金は、引き続き資本剰余金のまま計上されているが、本年度は、増減していない。

###### ② 利益剰余金

平成 28 年度の未処分利益剰余金を処分し、減債積立金への積立を行ったことにより、本年度は、7.5%増加している。